

The logo for azbil, featuring the word "azbil" in a bold, red, lowercase sans-serif font.

人を中心としたオートメーション

アズビル株式会社 証券コード: 6845(東証1部)

**2014年度(2015年3月期)
第1四半期決算補足説明資料**

2014年8月1日

1. 2014年度 第1四半期連結業績 P.4
2. 2014年度 連結業績計画 P.14
→ 直近の公表から修正なし
3. 株主の皆様への利益還元 P.19
→ 直近の公表から修正なし

注記事項



- 1) 金額は表示単位未満切り捨てで記載しています。
- 2) 次の通りセグメント名称を略称で記載しています。
 B A: ビルディングオートメーション
 A A: アドバンスオートメーション
 L A: ライフオートメーション
- 3) 各セグメント別の金額には、セグメント間の内部取引が含まれています。
- 4) azbilグループの売上は、第2四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期間に集中する傾向がある一方、固定費は恒常的に発生するため、例年、第1四半期連結会計期間及び第3四半期連結会計期間の利益は、他の四半期連結会計期間に比べ低くなる傾向があります。
- 5) 2012年度より、従来「その他」に含めていた事業の一部(検査・測定機器の輸入・仕入販売)を、「AA事業」へ区分変更しました。2011年度の数値につきましては、変更後のセグメント区分に組替えて記載しています。
- 6) 業績計画は、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。
- 7) 新規連結会社の状況は次の通りとなっています。

新規連結会社	2013年度	2014年度				連結の理由
	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	
① アズビルプロダクションタイランド株式会社						重要性増大
② アズビルサウジアラビア有限会社		※ ●	●			重要性増大

●: B/S連結

※ 同時に新規連結時点における受注残高を受注高に計上しています。

1. 2014年度第1四半期 連結業績

1. 2014年度第1四半期 連結業績 経営成績



<対前年同期>

■【受注・売上高】

国内を中心にBA事業*、AA事業で受注高が増加。売上高は全事業で増加。

■【利益】

営業利益は、研究開発費の増加や基幹情報システム更新に係る費用の他、一部事業に採算面で厳しい案件があったことの影響によりほぼ前年並みとなる。

[単位：億円]

	当期	前年同期	対前年同期	
			増減	増減%
受注高	※ 860	730	+130	+17.8
売上高	510	485	+24	+5.1
国内	405	389	+15	+4.1
海外	105	96	+8	+9.3
売上総利益	162	157	+5	+3.3
%	31.9	32.4	Δ0.5P	
販売費及び一般管理費	178	172	+5	+3.1
（内のれん償却額）	(4)	(4)	(+0)	
営業利益	Δ 15	Δ 15	Δ0	-
%	Δ 3.0	Δ 3.1	+0.1P	
経常利益	Δ 15	Δ 9	Δ5	-
税金等調整前当期純利益	Δ 14	Δ 10	Δ4	-
当期純利益	Δ 12	Δ 9	Δ3	-
%	Δ 2.5	Δ 1.9	Δ0.6P	

※ BA事業にて、契約期間が複数年となる大型のサービス案件の更新(総額約76億円)を一括計上しています。

1. 2014年度第1四半期 連結業績 セグメント別 - BA事業



<対前年同期>

■【受注・売上高】

省エネ関連需要の拡大に加えて、複数年大型サービス契約の更新※もあり、国内既設・サービス分野の受注高が大きく増加。売上高は、国内新設分野の回復により増収。

■【セグメント利益】

新製品開発のための研究開発費の増加等の要因から減少。

[単位：億円]

	当期	前年同期	対前年同期	
			増減	増減%
■ BA事業 受注高	※ 486	380	+106	+28.1
売上高	197	191	+6	+3.4
セグメント利益	△ 8	△ 6	△ 1	-
%	△ 4.2	△ 3.4	△ 0.7P	

(ご参考) のれん償却額	0	0	+0
--------------	---	---	----

※ 契約期間が複数年となる大型のサービス案件の更新(総額約76億円)を一括計上しています。

1. 2014年度第1四半期 連結業績 セグメント別 - AA事業



<対前年同期>

■【受注・売上高】

装置メーカー向け制御機器分野を中心に国内受注高が増加し、海外は、韓国、欧米並びに新たに連結した現地法人を主因に増加。売上高は、国内外で着実に増加。

■【セグメント利益】

増収により、費用の増加はあるものの増益。

[単位：億円]

	当期	前年同期	対前年同期	
			増減	増減%
■ AA事業 受注高	252	219	+32	+14.9
売上高	198	186	+11	+6.3
セグメント利益	0	△ 2	+3	-
%	0.3	△ 1.6	+1.9P	

(ご参考) のれん償却額	0	0	+0
--------------	---	---	----

1. 2014年度第1四半期 連結業績 セグメント別 - LA事業



<対前年同期>

■【受注・売上高】

受注高は、ガス・水道メータおよびライフサイエンスエンジニアリング(LSE)の分野が減少し、全体として減少。売上高は、厳しい事業環境ながら、為替の影響もあって増収したLSE分野を中心にライフオートメーション事業を構成する各分野が伸長し、全体として増収。

■【セグメント利益】

国内外で採算面の厳しい案件があり、為替の影響もあって減少。

[単位：億円]

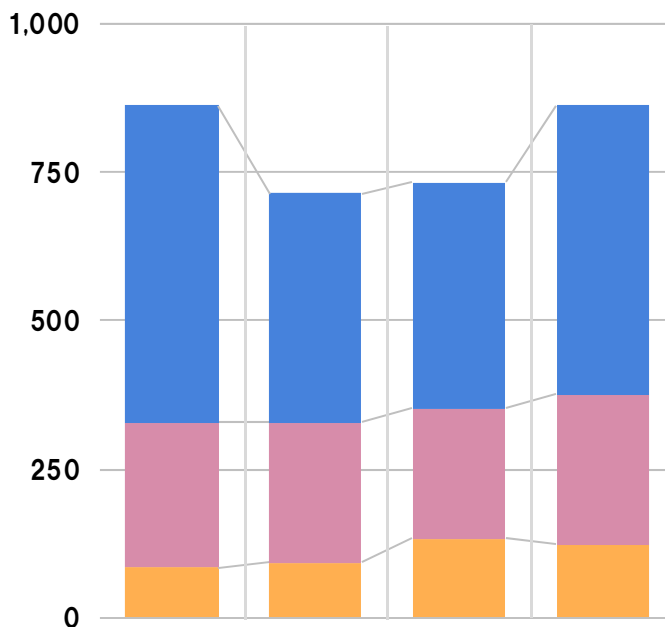
	当期	前年同期	対前年同期	
			増減	増減%
■ LA事業 受注高	124	134	△9	△7.1
売上高	117	109	+7	+6.9
セグメント利益	△7	△5	△2	-
%	△6.7	△5.4	△1.4P	

(ご参考)のれん償却額	3	3	+0
-------------	---	---	----

1. 2014年度第1四半期 連結業績 [参考] セグメント別受注高グラフ



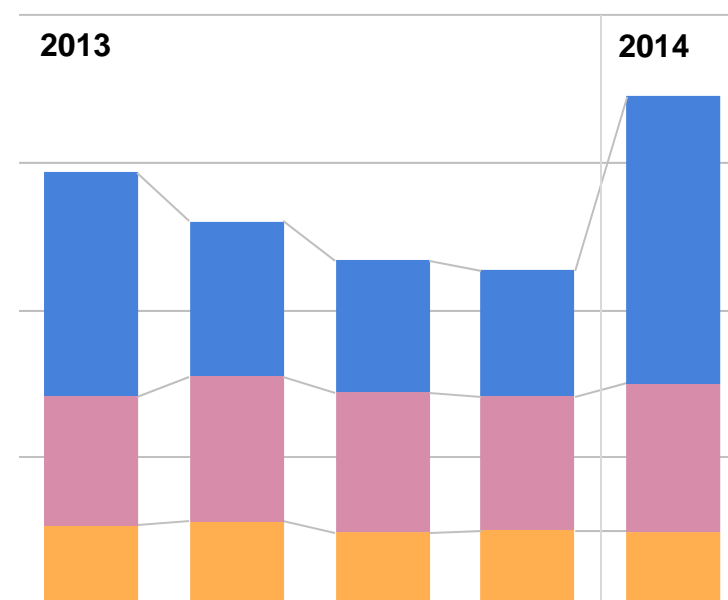
<同期比較>



	2011 1Q	2012 1Q	2013 1Q	2014 1Q
■ BA事業	※ 533	385	380	※ 486
■ AA事業	245	236	219	252
■ LA事業	84	93	134	124
連結	858	713	730	860

<四半期推移>

[単位: 億円]



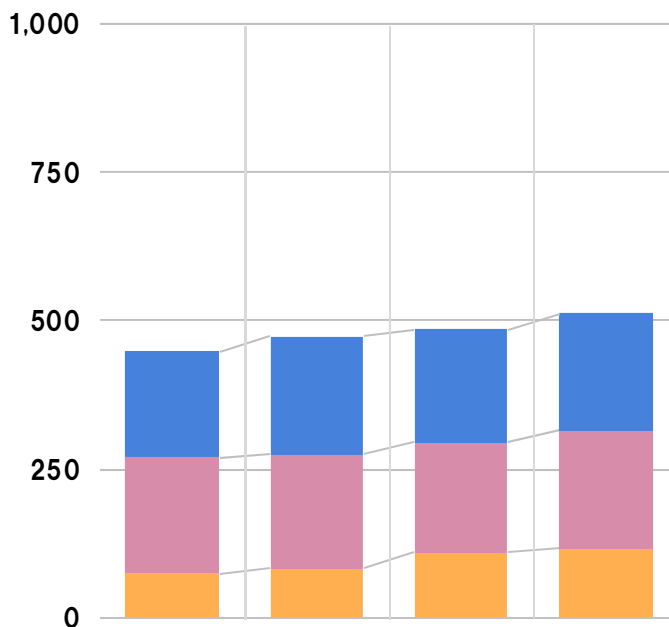
	2013 1Q	2013 2Q	2013 3Q	2013 4Q	2014 1Q
■ BA事業	380	264	224	215	※ 486
■ AA事業	219	246	237	227	252
■ LA事業	134	141	123	126	124
連結	730	646	582	565	860

※ 契約期間が複数年となる大型のサービス案件を複数受注し、その複数年分の契約額を一括計上しています。

1. 2014年度第1四半期 連結業績 [参考] セグメント別売上高グラフ



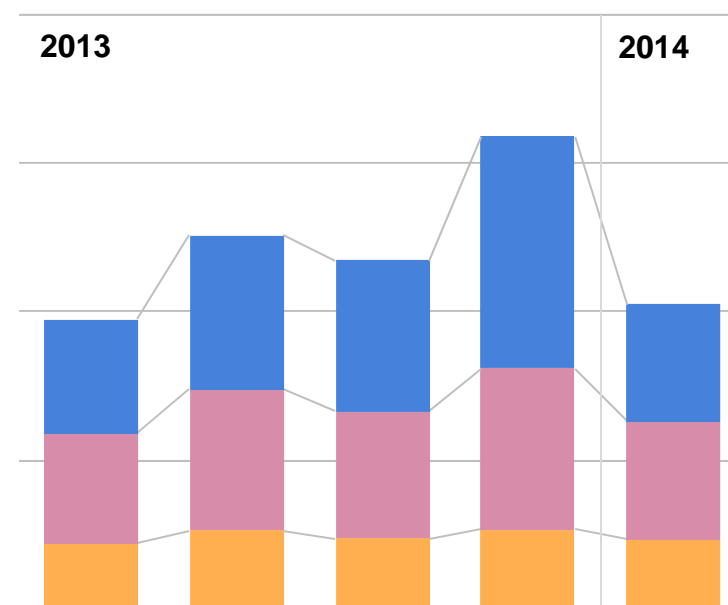
<同期比較>



	2011 1Q	2012 1Q	2013 1Q	2014 1Q
■ BA事業	178	199	191	197
■ AA事業	195	193	186	198
■ LA事業	75	82	109	117
連結	446	471	485	510

<四半期推移>

[単位: 億円]



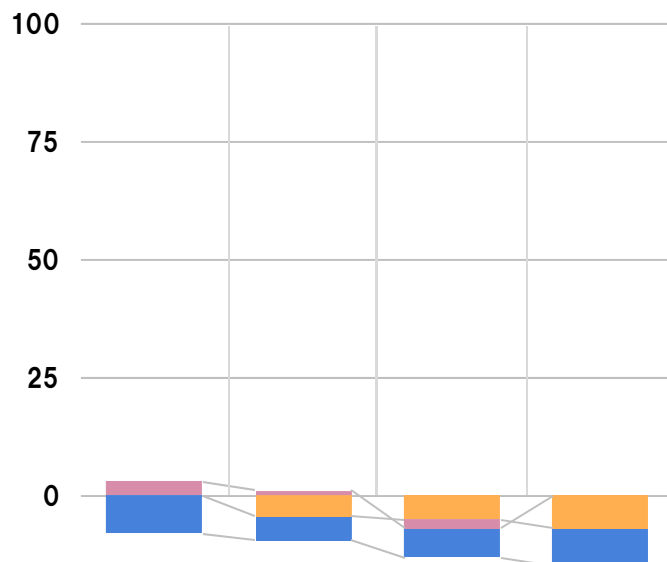
	2013 1Q	2013 2Q	2013 3Q	2013 4Q	2014 1Q
■ BA事業	191	259	254	390	197
■ AA事業	186	237	213	270	198
■ LA事業	109	132	119	134	117
連結	485	627	583	787	510

1. 2014年度第1四半期 連結業績

[参考] セグメント利益(営業利益)グラフ



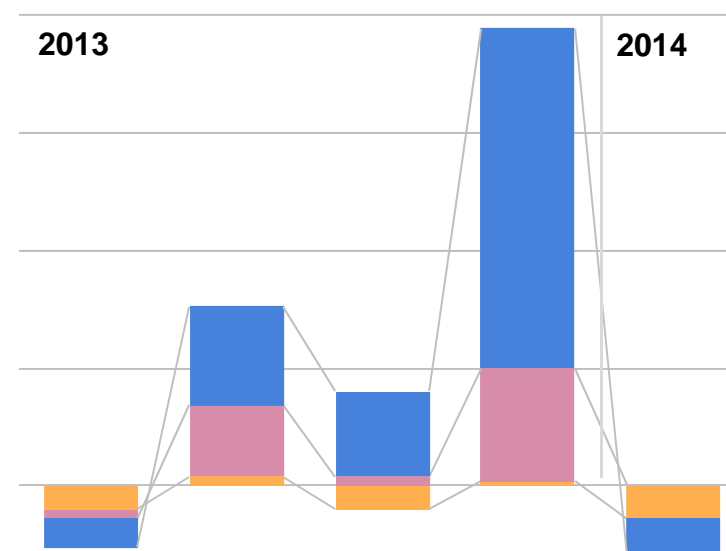
<同期比較>



	2011 1Q	2012 1Q	2013 1Q	2014 1Q
■ BA事業	△ 8	△ 5	△ 6	△ 8
■ AA事業	3	1	△ 2	0
■ LA事業	△ 0	△ 4	△ 5	△ 7
連結	△ 6	△ 9	△ 15	△ 15

<四半期推移>

[単位: 億円]



	2013 1Q	2Q	3Q	4Q	2014 1Q
■ BA事業	△ 6	21	18	72	△ 8
■ AA事業	△ 2	15	2	24	0
■ LA事業	△ 5	2	△ 5	1	△ 7
連結	△ 15	39	15	98	△ 15

1. 2014年度第1四半期 連結業績 海外エリア別売上高



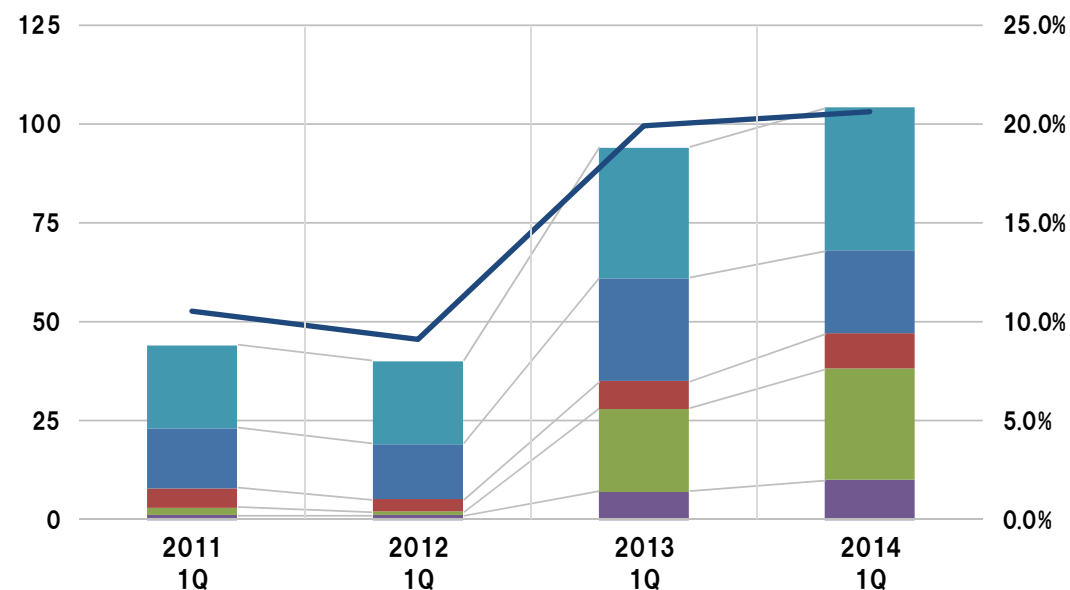
海外全体で売上高は前年同期比9%の増加。中国が前年度の政権交代により建物案件の進捗が停滞した影響で減収。アジア地域では、主にタイが政情不安の影響から減収となったものの、全体としては増収。北米における装置メーカー向け制御機器の販売が好調を維持。

[単位: 億円]

	2011 1Q	2012 1Q	2013 1Q	2014 1Q
■ アジア	21	21	33	36
■ 中国	15	14	26	21
■ 北米	5	3	7	9
■ 欧州	2	1	21	28
■ その他	1	1	7	10
合計	47	42	96	105
— 海外売上高比率	10.5%	9.1%	19.9%	20.6%

(ご参考) 期中平均レート

	2011 1Q	2012 1Q	2013 1Q	2014 1Q
円/USドル	82.32	79.36	92.47	102.78
円/ユーロ	112.67	104.15	122.06	140.80



※ 海外売上高は、現地法人と直接輸出の売上のみを集計しており、間接輸出は含んでいません。

※ 現地法人の事業年度は主に12月31日を期末日とする年度を採用しています。

※ 2013年度より、LA事業に欧州、アジア、その他地域(中南米等)に展開するライフサイエンスエンジニアリング(LSE)の分野が加わり大きく伸長しています。

1. 2014年度第1四半期 連結業績 財政状態



- 資産 売上が第2・4四半期に集中することから第1四半期としては売上債権が大きく減少し、全体として162億円の減少。
- 負債 仕入債務の減少に加え、法人税等の支払いにより未払法人税等が減少し、賞与支給により賞与引当金が減少。また、退職給付会計基準の変更により退職給付に係る負債が減少し、全体として184億円の減少。
- 純資産 配当金の支払い及び四半期純損失の計上があったものの、退職給付会計基準の変更により利益剰余金が増加し、全体として22億円の増加。

[単位：億円]

	当期末 (A)	前年度末 (B)	対前年度末 増減 (A) - (B)		当期末 (A)	前年度末 (B)	対前年度末 増減 (A) - (B)
流動資産	1,731	1,893	△ 162	負債	900	1,084	△ 184
現金及び預金	515	524	△ 8	流動負債	749	873	△ 124
受取手形及び売掛金	708	882	△ 173	仕入債務	365	414	△ 48
棚卸資産	209	181	+28	短期借入金・社債	154	154	△ 0
その他	297	305	△ 8	その他	229	304	△ 75
固定資産	640	640	+0	固定負債	151	211	△ 59
有形固定資産	245	245	+0	長期借入金・社債	21	22	△ 0
無形固定資産	129	129	+0	その他	129	188	△ 59
投資その他の資産	265	266	△ 0	純資産	1,472	1,449	+22
				株主資本	1,407	1,393	+13
				資本金	105	105	-
				資本剰余金	171	171	-
				利益剰余金	1,156	1,142	+13
				自己株式	△ 26	△ 26	△ 0
				その他の包括利益累計額	49	39	+9
				新株予約権・少数株主持分	15	16	△ 1
資産合計	2,372	2,534	△ 162	負債純資産合計	2,372	2,534	△ 162

(ご参考) 自己資本比率: 当期末 61.4%、前年度末 56.5%

2. 2014年度(2015年3月期) 連結業績計画

→直近の公表から修正なし

2. 2014年度(2015年3月期) 連結業績計画 業績計画



- 当第1四半期における連結業績は、事業により収益の進捗に差異があるものの、全体として期初計画の範囲で推移しているため、2014年5月12日に公表した計画値を据え置く。

[単位：億円]

	上期	下期	通期	2013年度	対前年度	
					増減	増減%
売上高	1,160	1,440	2,600	2,484	+115	+4.7
営業利益	34	121	155	139	+15	+11.5
%	2.9	8.4	6.0	5.6	+0.4P	
経常利益	32	118	150	145	+4	+2.7
当期純利益	16	69	85	76	+8	+10.8
%	1.4	4.8	3.3	3.1	+0.2P	

2. 2014年度(2015年3月期) 連結業績計画



セグメント別売上高、セグメント利益

[単位: 億円]

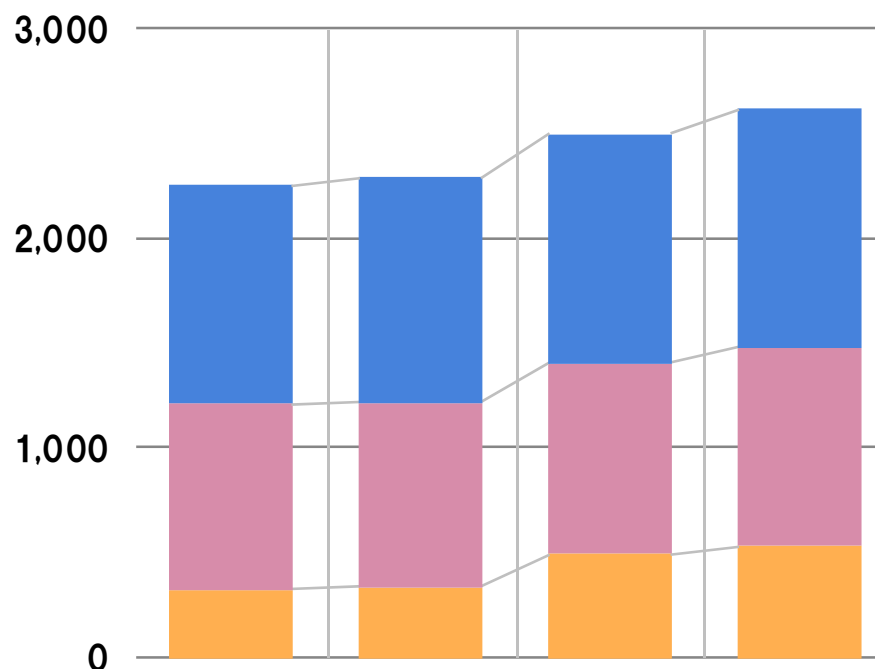
		上期	下期	通期	2013年度	対前年度	
						増減	増減%
■ B A事業	売上高	460	680	1,140	1,095	+44	+4.0
	セグメント利益	17	94	111	105	+5	+4.8
	%	3.7	13.8	9.7	9.7	+0.1P	
■ A A事業	売上高	450	500	950	908	+41	+4.6
	セグメント利益	19	27	46	39	+6	+16.0
	%	4.2	5.4	4.8	4.4	+0.5P	
■ L A事業	売上高	260	270	530	495	+34	+6.9
	セグメント利益	△ 2	0	△ 2	△ 6	+4	-
	%	-	-	-	△ 1.4	-	
連結	売上高	1,160	1,440	2,600	2,484	+115	+4.7
	営業利益	34	121	155	139	+15	+11.5
	%	2.9	8.4	6.0	5.6	+0.4P	

2. 2014年度(2015年3月期) 連結業績計画 [参考] セグメント別売上高グラフ



<年度推移>

[単位: 億円]



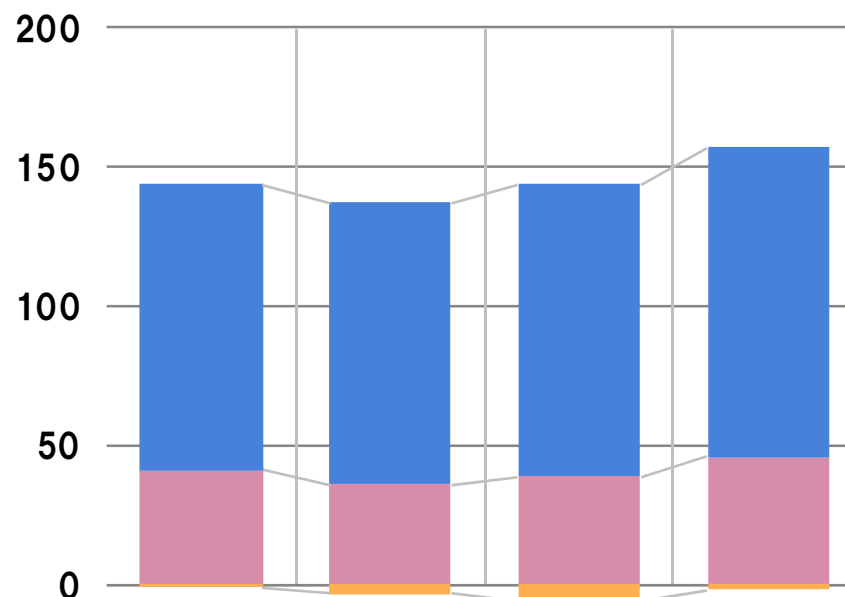
年度	2011	2012	2013	2014 (計画)
■ BA事業	1,038	1,074	1,095	1,140
■ AA事業	888	876	908	950
■ LA事業	325	339	495	530
連結	2,234	2,275	2,484	2,600

2. 2014年度(2015年3月期) 連結業績計画 [参考] セグメント利益(営業利益)グラフ



<年度推移>

[単位: 億円]



年度	2011	2012	2013	2014 (計画)
■ BA事業	103	101	105	111
■ AA事業	41	36	39	46
■ LA事業	△1	△3	△6	△2
連結	143	134	139	155

3. 株主の皆様への利益還元

→直近の公表から修正なし

3. 株主の皆様への利益還元 配当金



- 株主の皆様への利益還元を重視し、連結業績、自己資本当期純利益率・純資産配当率の水準向上に努めつつ、安定した配当を維持する。
- 2014年度(中間配当/期末配当)は、以下の5月12日公表の通りとする。

	2013年度		2014年度	
	中間	期末	中間	期末
1株当たり配当金 [円]	31.5	31.5	31.5(計画)	31.5(計画)
配当性向	60.7%		54.7%	
純資産配当率 (DOE)	3.3%		3.2%	

(ご参考) 2014年度7月末時点 配当利回り 2.4%

補足資料

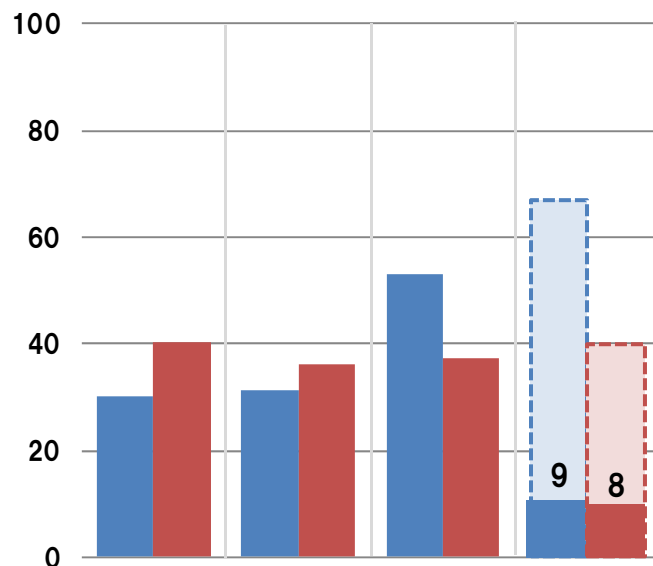
補足資料

設備投資・減価償却費／研究開発費



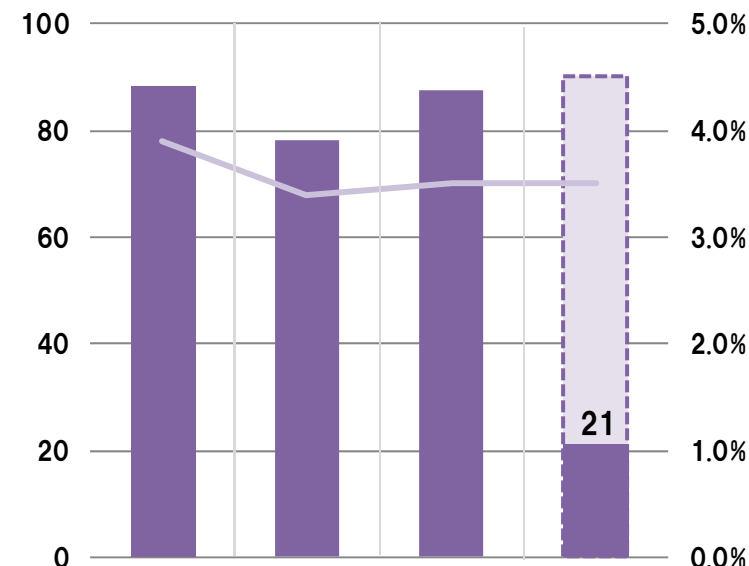
[単位：億円]

■ 設備投資・減価償却費

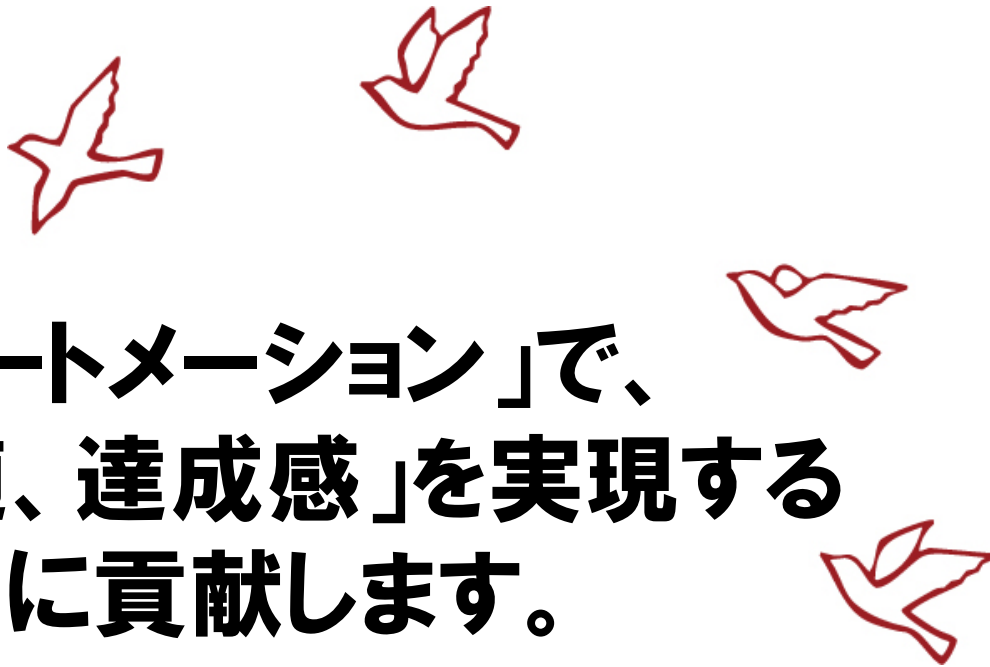


年度	2011	2012	2013	2014 (計画)
■ 設備投資	30	31	53	67
■ 減価償却費	40	36	37	40

■ 研究開発費・研究開発費率



年度	2011	2012	2013	2014 (計画)
■ 研究開発費	88	78	87	90
— 研究開発費率	3.9%	3.4%	3.5%	3.5%



azbilグループは、
「人を中心としたオートメーション」で、
人々の「安心、快適、達成感」を実現する
とともに、地球環境に貢献します。

<お問い合わせ>

アズビル株式会社
グループ経営管理本部
IR室

電話: 03-6810-1031
メール: azbil-ir@azbil.com
URL: <http://www.azbil.com/jp/ir/>